



たけのこだより

後期学校評価特別号

京都市立竹田小学校
校長 西山 正晃

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/takeda>

保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。先日はアンケートのご協力ありがとうございました。後期の学校評価アンケート結果をまとめましたので、お知らせします。

保護者 重要度

- 重要である ● やや重要である ● あまり重要ではない ● 重要ではない

①子どもに授業中話をしっかり聞いたり、発表したりするように励ます。



②子どもに友達と協力しながら学び合う大切さを話す。



③子どもに宿題や自主学習など家庭学習の習慣が身につくように働きかける。



④子どもに本を与えて本を読むように働きかけたりする。



⑤子どもが自分からすんでもいさつをするように家で声かけや自らいさつする。



⑥子どもに約束やきまりを守る大切さを話す。



⑦子どもに早寝・早起きをし、ごはんをしっかり食べる習慣がつくようになる。



⑧子どもに進んで運動するように働きかける。



⑨子どもに友達と仲良く遊ぶように話す。



⑩子どもとよく会話するように心がける。



⑪子どもに困ったときは先生に相談するように話す。



100% 0% 100%

※学校教育アンケート（保護者・教職員・児童）の結果は、真ん中の0%を境に、グラフ左側が「やや重要である」「重要である」、右側が「あまり重要でない」「重要でない」を示しています。

文中の重要度は、「重要である」「やや重要である」を合わせた数値、実現度は、「よくできている」「大体できている」を合わせた数値を、全体に占める割合で表しています。

重要度の集計結果から

【保護者・教職員のみ】

全項目で、教職員と保護者共に100%の重要度でした。

保護者の皆様には、本校の学校教育目標や方針をご理解いただき、大変ありがとうございます。これからも、教職員と保護者の方が同じ方向を向いて子どもたちの成長を見守っていきましょう。

保護者 実現度

- よく出来ている ● 大体出来ている ● あまり出来ていない ● 出来ていない

①子どもに授業中話をしっかり聞いたり、発表したりするように励ましている。



②子どもに友達と協力しながら学び合う大切さを話している。



③子どもに宿題や自主学習など家庭学習の習慣が身につくように働きかけている。



④子どもに本を与えて本を読むように働きかけたりしている。



⑤子どもが自分から進んでいさつをするように家で声かけや自らいさつしている。



⑥子どもに約束やきまりを守る大切さを話している。



⑦子どもに早寝・早起きをし、ごはんをしっかり食べる習慣がつくようになる。



⑧子どもに進んで運動するように働きかけている。



⑨子どもに友達と仲良く遊ぶように話している。



⑩子どもとよく会話するように心がけている。



⑪子どもに困ったときは先生に相談するように話している。



実現度の集計結果から

【保護者】

実現度の割合が大きく上がったのが、項目①と②でした。項目①授業中話を聞いたり発表したりするよう励ますでは、前期より8%上がり、86%の実現度でした。また、②友達と協力しながら学び合う大切さを話すでは、前期より4%上がり、89%の実現度でした。授業や友達との学び合いを大切にすることを働きかけていただき、大変ありがとうございます。私たち教職員も、子ども達が「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を感じられる授業を作っていました。

また、質問項目④読書の質問では、前期より4%上がり、57%の実現度でした。学校でも、昼の休憩時間に読書タイムを設けたり、図書委員会が工夫して活動をしたりしています。お家でも引き続き、読書の習慣をつけていただきますようご協力をお願いいたします。

質問項目⑤進んでいさつでは、前期より4%下がり、85%の実現度でした。いさつは、コミュニケーションの入口であり、相手を大切にしていることのメッセージです。登下校の際にも、地域の方にすんでもいさつができるようになってほしいです。大人が率先していさつをする姿を見せ、子ども達の良い見本となりたいです。

教職員 実現度

●よく出来ている ●大体出来ている ●あまり出来ていない ●出来ていない

①子どもに授業中話をしっかりと聞いたり、発表したりできるように授業を工夫している。



②子どもが友達と協力して学習していく様子を進めている。



③子どもに宿題や自主学習など家庭学習の習慣が定着するように取り組んでいる。



④子どもに読書の習慣が定着するように積極的に取り組んでいる。



⑤子どもが進んであいさつができるように教職員自らあいさつをしている。



⑥子どもに約束やきまりを守る大切さを話している。



⑦子どもに早寝・早起きをし、ご飯をしっかり食べる習慣の大切さを話している。



⑧子どもに進んで運動する様子を働きかけている。



⑨子どもに友達と仲良く遊べる学級づくりに取り組んでいる。



⑩子どもが家人と話すきっかけになるようなことをさまざまな方法で知らせている。



⑪子どもが相談しやすいような雰囲気や機会を作っている。



100% 0% 100%

児童 実現度

●よくできている ●だいたいてきている ●あまりできていない ●できない

①じゅぎょうにまじめにとりくみ、はなしをしっかりとしたりして



いる

②ともだちときよりよくしてへんきようしている



③いえでかならずしょくだいやじしゅがくしゅうをしている



④ほんをよくよんでいる



⑤まわりのひとにすすんであいさつしている



⑥やくそくやきまりをまもっている



⑦はやね・はやおきをし、ごはんをしっかりたべている



⑧すすんでうんどうしている



⑨ともだちとかよくあそんでいる



⑩いえのひととよくはなしている



⑪こまつときはせんせいにそうだんしている



100% 0% 100%

自由記述欄から

「大切なことも親の都合でできていないことが多いことに気づかされた。親としての心掛けが重要」「いつも丁寧に対応してもらっている」「言葉づかいが悪くなかった。言葉づかいや人との接し方に気を配ってほしい」など、ご意見をいただきました。アンケートをきっかけに日々の生活を振り返っていただき、ありがとうございます。教職員も子ども達も改めて自分のことを振り返り、今後の学校生活をより良いものにしていきたいと思います。言葉づかいを含め、人の関わり方については、再度クラスで指導していきます。竹田小学校の子ども達が、自分を大切にし、人のつながりを大切にしていくよう、これからも保護者の皆様、地域の皆様と一緒に子ども達を見守っていきたいと思います。

いただいた全てのご意見は全教職員で共有し、来年度の教育活動の取組内容に活かしていきます。

学校運営協議会より

授業中話を聞いたり発表したりする実現度が上がっているのは、良いことだと感じます。今後も、先生や友達の話を聞いてしっかり学習してほしいです。一方、読書の実現度が低いのは、残念です。今後も、学校と協力しながら読書時間が増える環境をつくりたいです。

学校教育アンケート全体を通して

今年度は、一人一人を大切に、子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう学校教育を進めてまいりました。

成果として、友達と協力して学習したり、授業中は話を聞いたり発表したりする実現度が高かったことは、大変良かったです。また、早寝早起き朝ごはんや家人とよく話しをしている現実度が高かったのは、保護者の方のご協力のおかげだと思います。

課題として、読書の実現度が低かったことは、残念です。今後も学校教育目標「夢に向かって輝く、竹田っ子～夢に向かい、つながりの中で主体的に生きていこうとする子をめざして～」に向かって、教職員、保護者の皆様、地域の皆様が協力し合い、子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思います。来年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

【教職員】

多くの質問項目で、実現度が上がりました。①授業中話を聞いたり発表したりする、③自主学習などの家庭学習、⑪相談しやすい雰囲気づくりの項目では、前期より上がり、100%でした。今後も、子ども達の学力向上を目指し、取組を進めていきます。

④読書の項目では、14%下がり、58%でした。児童が読書に興味をもつよう取り組みや、読書時間の確保を推進していきたいと思います。

また、来年度は、全ての質問項目において、100%に近づけるよう、これからも一層工夫した取り組みを進めていきます。

【児童】

①授業のまじめに取り組む、②友達と協力して勉強の項目では、前期より実現度が上がりました。これは、保護者・教職員・児童とも共通して実現度が上がった項目です。これからも1時間1時間の授業を大切に指導に当たっていきます。

④読書では、66%と低い割合でした。図書館利用が増えるよう、学校図書や委員会とも連携して、取組を進めていきたいです。

⑪困ったときは先生に相談の項目では、友達や家族にも相談している児童もいるかと思います。お家で気になることを聞きましたら、教職員にもご相談ください。これからも、一人一人を大切にし、児童が楽しく学校生活を送れるようにしていきたいです。